

Q10 養護教諭の役割は何ですか。

学校に不登校の児童生徒がいる場合、養護教諭は他の教職員とは異なった立場から支援する大切な役割を担っています。

養護教諭は、心の健康問題のある児童生徒を支援していることが多いことに加え、担任、保護者からの相談依頼も多いため、学校における心の健康問題への対応に当たっては、中心的な役割を果たすことが求められています。

1 養護教諭は心の健康問題を把握しやすい

(1)日頃から児童生徒の心身の健康状態を把握する。

児童生徒は、心の問題を頭痛・腹痛などの身体症状となって表すことが多く、養護教諭はそうしたサインをキャッチしやすい状況にあります。また、保健室では、教室では見せない言動を見せることもあり、養護教諭は、児童生徒の心身の健康状態を日頃からの確に把握し、早期発見・早期対応に努めます。

(2)相談しやすい保健室経営に努める。

児童生徒の背景を念頭に置きながら、訴えを受け止め、心の安定が図られるように配慮し、相談しやすい保健室の環境整備をします。

2 心の健康問題の中核的な役割

(1)校内関係者や関係機関等とのつなぎ役になる。

学級担任や校内の関係職員と連携はもちろんのこと、関係機関等との連絡調整など、コーディネーターの役割をします。また、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、スクールカウンセラー及び地域の医療機関等と連携し、他の教職員に情報提供を行います。

(2)相談活動にかかわる研修を生かす。

研修で学んだことを実際の相談活動はもちろん、自校の不登校対策や不登校児童生徒の支援計画づくり、さらに教職員研修にも生かします。

Q11 保健室の整備のポイントは何か。

保健室は、常に養護教諭がいて、いつでも相談相手になってくれるという期待をもって児童生徒が訪れる場所です。

1 相談活動の場としての保健室

傷の手当てをしたり、体調不良の児童生徒が休んでいたりする場所とは別に相談スペースを確保します。他の人に話を聞かれる心配がなく、ゆっくり打ち解けて相談ができるような空間が必要です。また、相談が必要な児童生徒の増加に伴い、保健室に隣接する相談室の必要性も高まっています。

2 別室登校の場としての保健室

保健室は、登校しぶりの時期や、不登校児童生徒が学校復帰のきっかけともなる別室登校時の「居場所」としての役割を果たす場合が多くあります。別室登校ができるようになった児童生徒には、心理状態に適した部屋（相談室、他の児童生徒も出入りする保健室、別室登校の仲間がいる部屋、一人になれる部屋等）で過ごせるようにすることも大切です。